

御前崎市市民協働の指針（案）に関する意見の内容及び意見に対する市の考え方

No.	御 意 見	市の考え方
1	<p>《市民協働》の案を思いつく限りあげて、かんたんそうなものや、できそうなものをこれからやってみましょう、というようなスタートアップの機会が大事ではないかと思いました。こうした機会を設けるときに、市は周知活動のサポートをしてもらえますか？</p>	<p>スタートアップの機会を設けることは有効であると考えます。周知活動について、市でもできる限りのサポートをさせていただきたいと考えております。</p>
2	<p>やったことのない市民協働をいきなり動かすのは、これまでイメージもしていないことなので、大変かと存じます。</p> <p>市民協働したことのない人（子どもや、なんらかの理由で社会に出られなかった人）が《市民協働をはじめるところから終わる（続ける）ところまで》をイメージできるように、動画やマンガなどの創作物がほしいです。</p> <p>なじみのある御前崎市内で行われたものであれば、より鮮明にイメージしやすいと思います。《広報おまえぎき》のマンガが素敵でしたので、あの仕立てと媒体を使ってひとつ市民協働の具体例を想定したシナリオを書き上げるというのはどうでしょうか。</p>	<p>市民協働について、誰でもわかりやすくイメージできるような資料の作成を検討します。協働の指針の「資料編」に、これまで実際に行われた様々な協働の取り組みの事例を掲載していく予定です。</p>
3	<p>市民協働というワードを見るたびに思うことなのですが、たとえばネガティブなニュアンスの含まれる《問題》意識（意見が二分してしまう系のもの）があって、市民協働のなかでも扱うのに気が引けるのだと思います。</p> <p>市民協働するにあたっては、市民みんなが笑顔になれる、市民みんなが幸せになれること。協働に関わる人たちだけでなく、ひょっとしたら多数の意見に埋もれているかもしれない（見えない）一人をも取り残さない、という目的を最初に設定してみんなと共有することが大切なのだと考えますが、市はどのようにお考えでしょうか。</p>	<p>協働するにあたっては、目的を共有し、お互いに納得したうえで対等の立場で取り組む必要があると考えます。</p>

No.	御 意 見	市の考え方
4	<p>これは未来の話ですが、市民協働がすすんでくると、プライバシー（個人情報）のことでぶつかるかもしれません。</p> <p>大切なのは、その情報がみんなのために使われているのだと信用してもらうことだと考えます。</p> <p>もしみんなが市民協働をするようになれば、開示したほうが、いい町が作れる！と考える人も増えるでしょう。ですが今は個人情報を保護してほしいし、保護したいという気持ちを守ってほしいと思う人の気持ちも尊重したいのです。</p> <p>もしもプライバシーが必要になったときに、「わたしの情報は開示してもよい。」《わたしの情報のなかに隠してほしい情報がある。》という本人の意思表示を事前に聞いておき、開示してもよいとされた情報のみを望む市民活動団体に必要事由にそった情報を市から開示できるような仕組みや、枠組みを作ることが適切なように思えますが、市はどのようにお考えでしょうか。</p>	<p>個人情報については、本人の意向を尊重し、慎重に取り扱う必要があると考えます。情報提供の仕組みについて検討させていただきます。</p>
5	<p>市民協働について、平成 16 年度のタウンミーティングで提案したことがありますが、当時の市執行部の回答は時期尚早ということでした。18 年経って取り上げられて喜んでいます。</p> <p>以下提案内容</p> <p>「御前崎市総合計画」は、合併協議会において承認された「新市建設計画」に基づいて策定されるものと思われます。個々の施策に強弱・優先順位をつけ、予算を有効に使って着々と実施されることをお願いします。主要施策の中の3つについて、実施にあたっての具体的な提案をします。</p> <p>(市民主体のまちづくり)のために</p> <p>【まちづくり条例】の制定を提案します。</p> <p>明治・昭和の大合併は行政の効率化・能率化を目的に中央集権化を目指したものでした。平成の大合併は先の二度にわたる合併とは性格が大きく異なります。切迫する国や地方自治体の財政危機、地方分権の推進を背景に、自立性が高く十分な権限と財政基盤を有し、自己決定・自己責任・自己負担で運営される地方自治を目指すものとされています。</p>	<p>18 年前に、このような先進的な御意見をいただきありがとうございました。まさに今、当市が進めようとしている「市民主体による協働のまちづくり」の理念そのものであると考えます。</p> <p>指針の内容に関する御提案についてですが、①・②については指針に記載しておりますので、この考え方に基づいて協働の取り組みを進めてまいります。③・④については、企画政策課協働推進室が担当部署となり進めてまいります。⑤については現在も実施しておりますが、今後も積極的に市民が市政に参画する機会の提供に努めます。⑥については、企業版ふるさと納税制度の活用等、先進事例を参考に調</p>

No.	御 意 見	市の考え方
	<p>地方自治は「住民自治」と「団体自治」で構成されます。「住民自治」とは住民の意思と責任にもとづくもので、「団体自治」とは地方公共団体による行政です。「住民自治」を実現する枠組みとして「団体自治」があります。しかし、公共的サービスは行政が行うべきという意識が市民にも行政にもあまりにも強く、時代の変化とともに個性化・多様化・専門化する市民ニーズに対して行政サービスが肥大化する傾向があります。一方で三位一体改革もあり、このままでは「団体自治」が立ち行かなくなる可能性があります。我々市民は、社会に関心を持ち地域社会の一員として自らできることを考え行動し、市民活動や市政に参加し協働する“市民主体のまちづくり”の意識を持たなければなりません。</p> <p>そこで、市民主体のまちづくりを推進するための仕組みをより明確にするための【まちづくり条例】の制定を提案します。その内容としては</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市民主体のまちづくりの理念の共有化 ② 市民・市民活動団体・事業者・市の役割と責務の明確化 ③ 市民活動団体の活動支援とネットワーク化（市に担当部署を設置） ④ 協働事業の提案・実施の制度化（市に担当部署を設置） ⑤ 市政に参画する機会の制度化（タウンミーティングやパブリックコメント制度の導入） ⑥ 協働事業推進基金の設置 <p>などが考えられます。</p>	<p>査・研究してまいります。</p>
6	<p>指針の本文は理念のみではなく、資料編の1.本市における協働の取り組みの内容も盛り込んで、具体的なことも規定した方が良い。</p>	<p>指針の「資料編」に具体的な協働の取り組み事例を掲載し、市のホームページに随時掲載していく予定です。</p>

No.	御 意 見	市の考え方
7	コーディネーターが必要であるが、どこが担うのか明確に定義すると良い。	コーディネーターの必要性は感じております。近隣市の先進事例を参考に調査・研究し、御前崎市における中間支援のあり方について検討してまいります。
8	本件のパブリックコメント募集を告知放送で知りましたが、ホームページ上で検索するのに手間が掛かりました。このような案件は、新着情報に掲載すると不特定多数の人に気付いてもらえるし、検索も容易になる。	新着情報に掲載します。
9	素晴らしい内容だと思います。これに沿って実際に進める事例が出来るのを楽しみにしています。特に今は最初の段階である意見交換がうまくいっていないのではと思います。お互いを尊重して、合理的に進められる様に願っています。	指針にも示していますが、協働の取り組みを進める際は、まず対等な関係を築き、お互いを尊重し、目的を共有する必要があると考えます。意見交換がスムーズに進むように、市がサポートする体制づくりを検討してまいります。
10	現状では、目的を達成するために協力するというのも、それぞれの利権？や面目の様なものに縛られるケースもあるみたいで、自分たちの仕事の範囲ではない、とか、あの団体には協力しない、などと、つっぱねて連携がうまく取れていないと思います。	団体同士をマッチングする中間支援の体制づくりについて検討してまいります。
11	現在、小学校 PTA の地区長をしております。今年携わり感じた事ですが、地域への想いが強い方が多い反面それがうまく伝わってない様に感じます。繋ぐ人やマッチングする人がいないのかな？と思いました。	コーディネーターの必要性は感じております。近隣市の先進事例を参考に調査・研究し、御前崎市における中間支援の在り方について検討してまいります。

No.	御 意 見	市の考え方
12	<p>資料を拝見し、協働の目指すところは地域課題の解決・人と人とのつながり・地域活性化・まちの魅力発信 と記載がありましたので、幅広い世代の声が必要と感じました。</p> <p>○LINE の登録について</p> <p>御前崎市の LINE など産業祭や人が集まる場面を活用し（お友達登録したらガチャガチャができるなど）、登録者数を増やして情報発信や問い合わせが気軽にできたりお互いフレキシブルに活用できるようにするのも一つの方法かなと思いました。</p> <p>○アンケートなど声の収集方法</p> <p>過去に小中で祭典についてのアンケートを LINE に Google アンケートフォームを貼り付けて実施したところ、300 世帯近く回答と多くのフリーアンサーを頂きました。みんなが回答しやすいフォームの作成も必要と感じました。</p> <p>課題は地域の人たちの声にあるので、引き続き声の吸い上げと解決に向けての活動をしていただけたら幸いです。</p>	<p>幅広い世代の声を反映させるため、市の公式 LINE やアンケートフォームを有効に活用し、地域課題の把握に努めます。</p>

No.	御 意 見	市の考え方
13	<p>アイデアのいくつかを記して、パブコメに参加します。</p> <p>1 河津さくらの大延伸 20年後は本場河津町をしのぐ大さくら並木を育てあげ、河津さくらを見るなら御前崎にいこう、をめざす。</p> <p>(1) 浜岡砂丘から御前崎灯台へ、あるいは比木福田沢へ (2) 市民、町内会、小中高、企業など総参加で植栽</p> <p>2 傾斜茶園をひつじ牧場に</p> <p>(1) あらさわ公園周辺の傾斜茶園を利用する (2) イタリアンライグラスなどの飼料用牧草。牧場は電牧で囲う。 (3) 小笠の展場が近接する好条件を生かし、あらさわ公園のバーベキューメニューにマトン、ラムのジンギス を加える。</p> <p>3 生ゴミ利用の養鶏事業</p> <p>(1) 生ゴミは大切な資源、そのまま鶏の飼料に活用 (2) 有志の市民が各人で生ゴミを鶏舎に運ぶ。飲食店も可。 (3) 人口減で生ゴミも自然減するが、より積極的にゴミ減量事業と位置付ける。</p> <p>4 地元産コメ油を開発</p> <p>(1) コメ農家で直売しているところは年中、コメヌカ大量に発生 このヌカを絞ってコメ油を得る。 (2) 食推協、栄養友の会、農協女性部などと連携。</p>	<p>たくさんのアイデアをありがとうございます。 今後協働の取り組みを推進していくうえで、参考にさせていただきます。</p>